

HIV 薬剤耐性に関するトレーニングワークショップ開催！  
(2022 年 8 月 19 日)

SATREPS プロジェクトは「科学技術協力」と呼ばれる支援の方式で、共同研究の成果による途上国の社会問題解決を目指すものです。ただそういった共同研究の枠組みの中でも、JICA が実施するプロジェクトとしては相手国への技術協力の要素はとても重要。今回は研究成果を発表しあうような各種セミナーとは違い、プロジェクトのパートナー病院として日頃サンプリングなどにも協力頂いている 10 病院から参加者を募り、HIV 薬剤耐性に関する知識を学び、患者さんに如何にしてきちんと薬を飲んでもらえるようにするかなどの課題をシェアしあうワークショップを開催しました。

プロジェクト側からは、開始後 3 年を過ぎた段階での中間結果を踏まえつつ、その中で実施してきた HIV ウイルス薬剤耐性検査と薬剤耐性をきちんとモニタリングし、対応することの重要性をまず示しました。次に、プロジェクトリーダーである国立国際医療研究センター（NCGM）・エイズ治療・研究センター（ACC）センター長である岡先生より HIV ウイルスに薬剤耐性変異が起こる原理、変異が起きた際の対応策の基礎について講義を頂きました。



薬剤耐性ウイルスに関して講義を行う岡先生



コロナ感染がやや落ち着くベトナム・ハノイ、ようやく関係者が一堂に会することができました

岡先生からの講義を踏まえ、参加者との質疑応答、各病院が抱える治療困難な症例ケースについての議論などを行いました。HIV 薬剤耐性と言っても一回ではなかなか消化しきれない大きなテーマ。病院ごとに色々な状況と課題がある中で、こういった議論の中から次のテーマを探していき、次回以降のトレーニングワークショップにもつなげたいと思っております。



JICA-SATREPS プロジェクト  
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と  
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



ます。

2019 年から実施の SATREPS プロジェクトなのに、2020 年以降はコロナ対策のため会議やワークショップはオンラインが続き、オフラインでも人数をかなり制限しての実施が続きました。会議の内容ももちろんですが、今回はメインカウンターパートである国立熱帯病病院に加え、パートナー病院の関係者が活動レベルで一堂に集う初めての機会になりました！そういう意味でもとても意義深いものとなりました。

現在プロジェクトにおいては、ACC の日本の先生方に薬剤耐性検査結果を踏まえたアドバイスを頂き、薬を変えるべきか否かなどの専門家コメントを各病院へ返しています。こういったトレーニングを通じ、今後その役割を、ベトナム地方病院の医師の先生方自身でできるようになっていくことが目的です。従来ドナー主導での支援が大きかった HIV 治療は、現在進むベトナム医療保険システムへ移管してきています。その中で、今後 HIV 治療も地方病院で実施されるものが増えていきます。そこで大事になるのは各地方の医師、看護師の皆さんの役割です。そういった次の時代の HIV 治療に役立つ人材を育てる活動も、更に実施していきたいと思います。